

受験生へのメッセージ&学習内容

A photograph of four young women, likely nursing students, standing in a clinical or laboratory setting. They are all wearing light blue short-sleeved uniforms with white collars and white pants. They are smiling and raising their right fists in a celebratory gesture. The background shows a clean, modern environment with a sink, a counter, and a cabinet filled with medical supplies.

群馬大学医学部保健学科看護学専攻

※群馬大学医学部保健学科広報以外での使用を禁じる



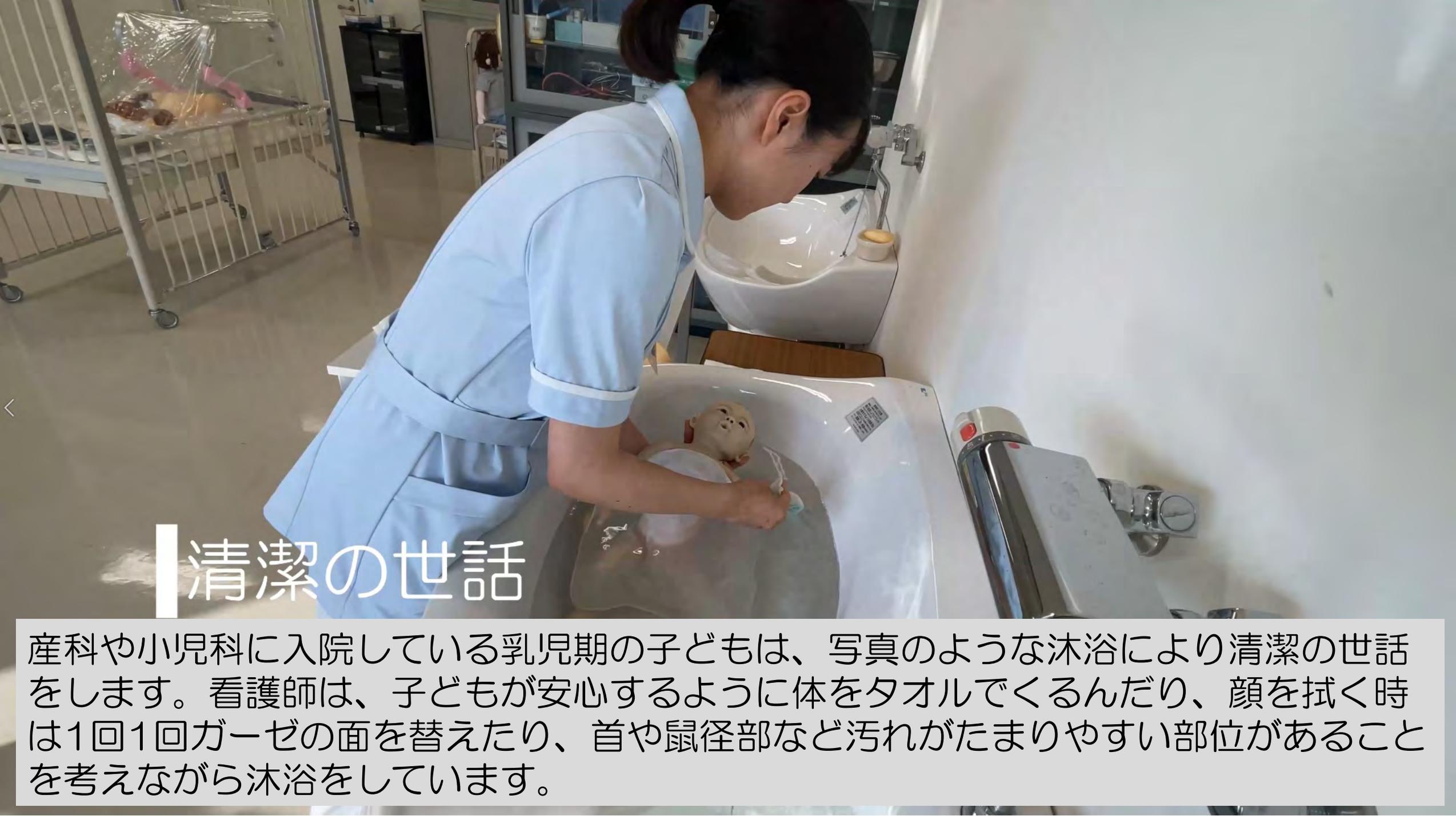
受験生へのメッセージ

推薦入試では、自分の言葉で意見を述べられるように準備してきて下さい。
一般試験では、共通試験後に気を抜かず、2次試験に向けた勉強を頑張ってください。
4月に皆さんとお会いできることを楽しみにしています。
応援しています!!!



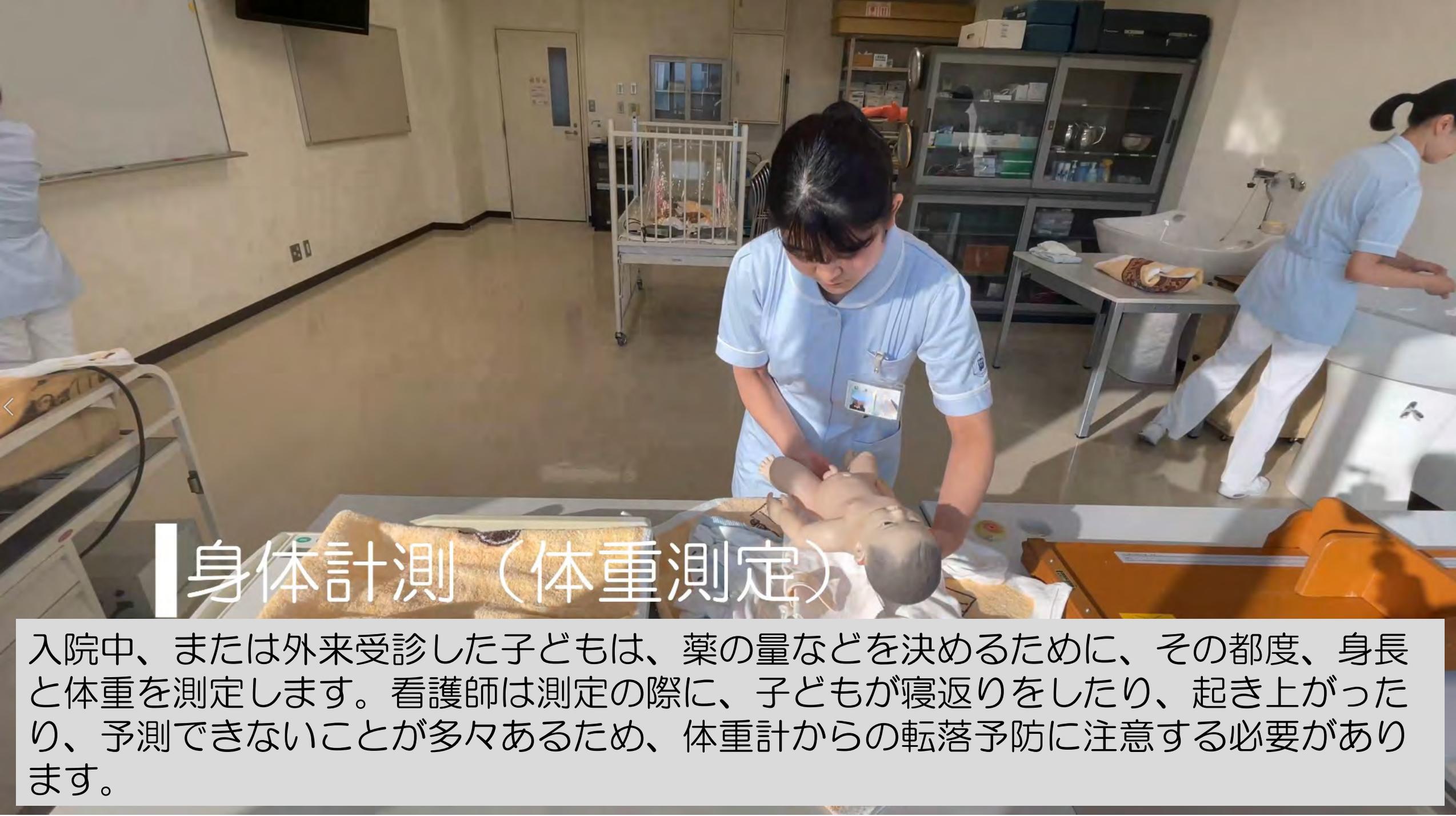
酸素療法を行う子どもの看護

呼吸状態の悪い子どもは、病院では酸素マスクの代わりに、写真のような酸素で満たされたテント内で療養します。そのため、看護として酸素濃度を測定したり、子どもの低体温を早期発見したり、ビニールによる窒息予防のため、子どもの寝ている位置を調整したりします。



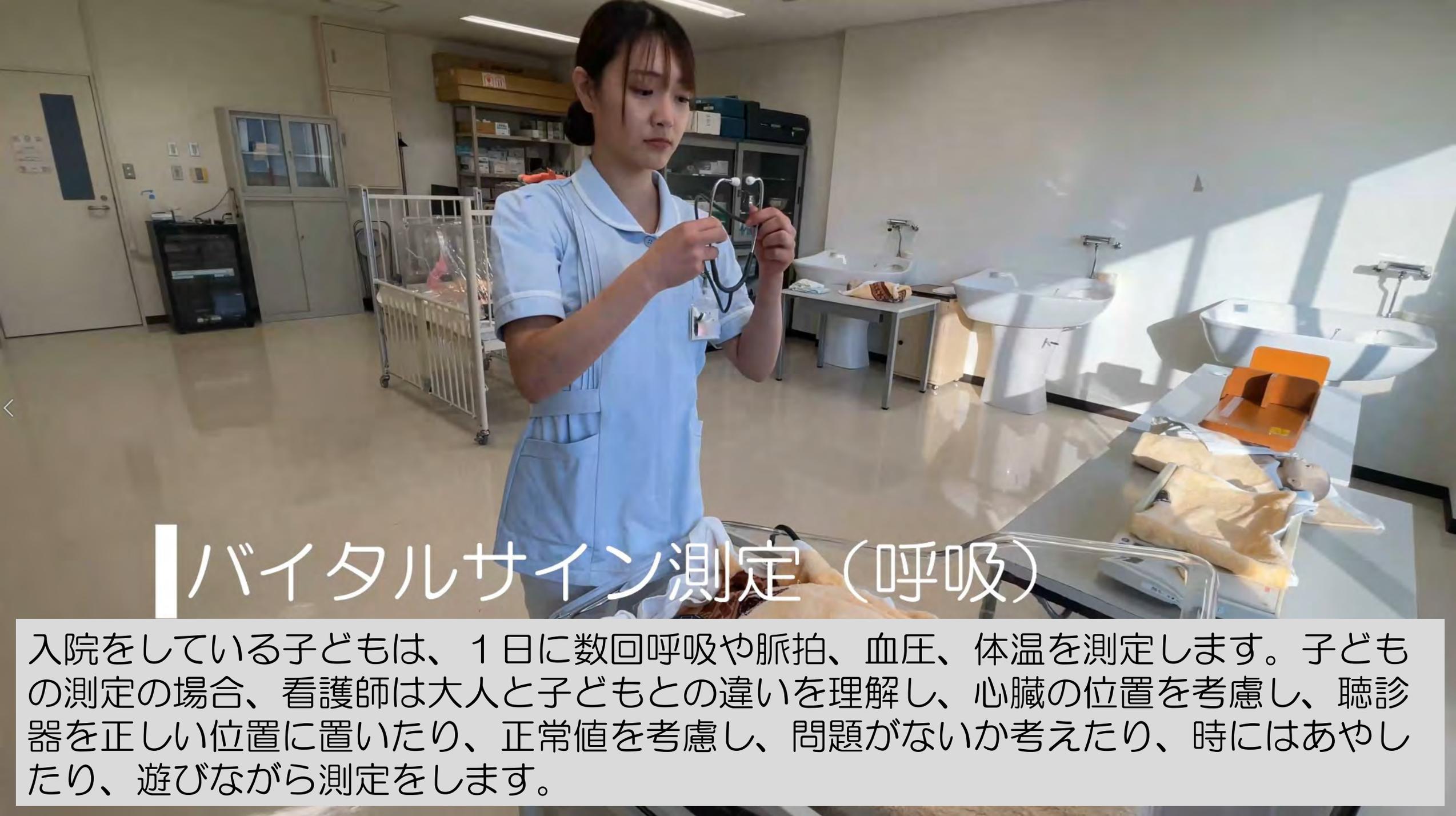
清潔の世話

産科や小児科に入院している乳児期の子どもは、写真のような沐浴により清潔の世話をします。看護師は、子どもが安心するように体をタオルでくるんだり、顔を拭く時は1回1回ガーゼの面を替えたり、首や鼠径部など汚れがたまりやすい部位があることを考えながら沐浴をしています。



身体計測（体重測定）

入院中、または外来受診した子どもは、薬の量などを決めるために、その都度、身長と体重を測定します。看護師は測定の際に、子どもが寝返りをしたり、起き上がったたり、予測できないことが多々あるため、体重計からの転落予防に注意する必要があります。



バイタルサイン測定（呼吸）

入院をしている子どもは、1日に数回呼吸や脈拍、血圧、体温を測定します。子どもの測定の場合、看護師は大人と子どもとの違いを理解し、心臓の位置を考慮し、聴診器を正しい位置に置いたり、正常値を考慮し、問題がないか考えたり、時にはあやしたり、遊びながら測定をします。